

古事記1300年紀

古事記のふるさと田原本

古事記とは…



▲図書館の古事記コーナー

古事記 1300 年紀催し案内 (9月)

第3回記紀・万葉歴史講座

日時 9月15日(土)午後2時～
 場所 町民ホール(町役場西側)
 演題 古事記の魅力
 講師 寺川真知夫さん
 (同志社女子大学特任教授)
 定員 150人(先着順/申込不要)
 参加費 200円
 (観光協会会員は半額)
 町観光協会 ☎ 33-4560

古事記を編纂した太安万侶と古事記、そして田原本との関わりなどをこの連載で紹介しています。今回は古事記について紹介します。

古事記は「こじき」あるいは「ふることぶみ」と読み、わが国最古の歴史書です。

天地の始まりから、神々が生まれて世界をつくっていく物語。そして歴代天皇の治世における出来事や伝説が書かれています。物語風に収録されているので、読み物として親しみやすさがあります。

構成は、上つ巻・中つ巻・下つ巻の全三巻です。上つ巻では、太安万侶の序文、国土の誕生や、人間の生活に欠かせないさまざまなものを司る神々などのように誕生したのかなどが記されています。中つ巻には、初代神武天皇から15代応神天皇までのエピソードが、下つ巻には第16代仁徳天皇から第33代推古天皇までのエピソードが記されて



イメージ：奈良県ホームページ「記紀・万葉でたどる奈良」より

います。私たちが昔話としてよく耳にする「因幡の白ウサギ」や「八咫のおろち」の話は上つ巻に記されています。古事記にまつわる話を読んでみたいと思う人は、図書館に古事記関連の本をまとめたコーナーがありますので、ぜひご覧ください。

また11月には古事記1300年紀記念事業として記念フォーラムを予定しています。記念フォーラムでは、鼎談&シンポジウムやステージを予定しています。詳細は本紙27ページをご覧ください。

町観光協会

編集後記

■久しく足を運んでいなかったぎおん祭りに、取材という形で、今回数年ぶりに訪れました。優しく光る提灯の灯り、境内に漂うさまざまな夜店の香り、行き交う浴衣姿の人たち、小さなころから変わらない祭りの風景がそこにありました。以前とほとんど変わっていないことを嬉しく思うとともに、久しぶりに日本の夏を味わえた気がしました。昂

■平成16年に入庁し、広報紙を通してまちの情報を発信すること8年と5ヵ月。先月号で100回の節目を迎えていました。まだまだ発展途上の広報たわらもと。ただのお知らせでなく、「心」に響く広報紙へと発展させたいと思っています。まちのことが分かり、このまちが好きになる情報紙——。文字が持つ力でまちを盛り上げていきたい。永

今月の表紙

上手に野菜を切れるかな



8月9日、保健センターで親子料理教室が行われ、7組の親子が参加しました。当日、作った料理は、ハンバーガー、サラダ、デザートのお品。食生活改善推進員の指導のもと、親子で料理しました。具材を切るときは、子どもが包丁で手を切らないように、母親がサポートしていました。親子で作った料理の味は格別。会話を楽しみながら完食しました。